

平成27年度 伏見区区民活動支援事業補助金
 交付申請書

平成27年 ○月○日

伏見区長 様

(団体名) 区民が主役のまちづくり会
 (代表役職名) 会長
 (氏名) 伏見 太郎



平成27年度 伏見区区民活動支援事業補助金について、次のとおり申請します。

1 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> 小規模枠	
2 申請額	311,000円 (収支予算書の「市町村補助金」の額)	
3 事業名	「わがまち再発見」講座	
事業完了時期	平成28年 3月	
4 関係書類	<input type="checkbox"/> 事業計画書 (第2号様式)	京都府地域力再生プロジェクト支援事業と併用の場合は、同事業の様式の写し添付でも可
	<input type="checkbox"/> 収支予算書 (第3号様式)	
	<input type="checkbox"/> 労力換算額算定書 (第4号様式)	小規模枠かつ該当する場合のみ提出
5 添付書類	<input type="checkbox"/> 定款・会則等	
	<input type="checkbox"/> 役員名簿	
	<input type="checkbox"/> 団体の概要、パンフレット等	
	<input type="checkbox"/> その他 (平成25年度活動報告書)	

<団体の概要>

設立時期	平成25年 4月	構成人数	10人	
これまでの活動内容 (補助金の実績等、別紙の添付でも可)	・毎月1回 事務局会議を開催 ・平成25年 5月 記念講演会を開催 (50名参加) テーマ 地域をもっと知ろう (講師 ○○氏) ・平成25年11月 地域再発見イベントを開催 (50名参加) ※詳細は、平成25年度活動報告書を参照			
連絡先	所在地	(〒612-8511) 京都市伏見区鷹匠町39-2		
	団体	電話	075-611-1295 F A X 075-611-4716 Mail fushimi-keiji@city.kyoto.jp	
		WEBサイト (ホームページ) ※開設している場合は記入してください	http://www.city.kyoto.lg.jp/fushimi	
	担当者 ※	フリガナ	キョウト ジロウ	〒612-8511)
	氏名	京都 次郎	郵送先 京都市伏見区鷹匠町39-2	
	電話	075-611-1295 F A X 075-611-4716 Mail fushimi@city.kyoto.jp		

※ 代表者、団体の所在地以外に連絡・対応いただける担当の方がおられる場合は、連絡に必要な項目を御記入ください。

事業計画書

団体名	区民が主役のまちづくり会	
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> 小規模枠 (該当欄をチェック又は■)	
事業名	「わがまち再発見」講座	
事業実施地域	京都市伏見区〇〇地域	※伏見区内に限る
取組目標 (主に該当するものを○で囲んでください。)	1 循環型社会の要を担い、環境共生・低炭素社会の魁をめざします 2 自然と歴史がいきづく地域の魅力を学び、発信します 3 伏見力を活かし、「新しい京都」のまちづくりを牽引します ④ 地域のコミュニティが人を育み、すこやかな暮らしを支えるまちをめざします 5 安心安全で、人にやさしい便利なまちをめざします	伏見区基本計画の取組目標のうち該当するものを「○」で囲む
地域課題・事業の目的	現在、〇〇地域においては、・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・ということが地域の課題である。 そこで、これらの課題を踏まえて、・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・地域のつながりを深めることを目的とする。	
事業内容	・「わがまち再発見」ワークショップの開催（6月～2月 毎月第2土曜日 全9回） 参加者 毎回50名 場所 〇〇会館ほか 対象 テーマに関心のある方などをたでも 内容 地域のことを深く知ることを目的とするワークショップ 講師 〇〇氏によるファシリテーション ・成果報告会の開催（3月） ・ ・	
前年度の課題 (昨年度に当補助金を活用している場合のみ記入)		
課題解決に向けた工夫点等		
スケジュール	時 期	実 施 内 容
	4月	企画会議で講座内容を決定（毎月1回開催） 講師との打ち合わせ
	5月	地域での広報活動・講師との最終調整
	6月～2月	ワークショップを開催（毎月第2土曜日、全9回）
	3月	講師との打ち合わせ成果発表会を開催
補助金の活用による事業の効果	地域や住民にもたらされると予測される効果（※数値目標があれば記入してください。） ・参加者に地域活動への積極的な参加を促す。 ・地域のつながりが深まるとともに、地域において共助の気運が高まる。	

※ 京都府地域力再生プロジェクト支援事業との併用の場合は、同事業の様式（事業計画書 別紙1-1）の写し添付でも可

記入例（一般枠）

収 支 予 算 書

団体名 区民が主役のまちづくり会

事業名 「わがまち再発見」講座

1 収入内訳

項目	内 訳 (名称、積算単価、数量)	金額 (円)	備考
地域力再生交付金	京都府分	207,000	京都府地域力再生プロジェクト支援事業補助金を併用(申請)する場合は府への申請額を記入
市町村補助金	伏見区区民活動支援事業補助金	311,000	収入が超過となる場合は、必要事業経費(B)と収入合計(A)が同額になるまで区の補助金を減額
民間助成金			
事業収入	参加費用 (@200円×50名×10回)	100,000	
自己負担	団体予算から支出	5,000	
収入合計		623,000	(A)

2 支出内訳

項目	内 訳 (名称、積算単価、数量等を具体的に御記入ください。)	金額 (円)	備考
講師等謝礼	講師への謝礼 (@10,000円×2名×10回) 講師の交通費 (@500×2名×10回)	200,000 10,000	公共交通機関
旅費	講師との打ち合わせ (@500×3回×2名)	3,000	公共交通機関
印刷費	チラシ (@10円×1,000部×10回) 講座資料 (@400円×50部×10回)	100,000 200,000	1部10ページ予定
消耗品購入費	ボールペン (@80円×50本) 封筒 (@30円×200枚)	4,000 6,000	
郵送料	チラシ配送 (@200円×20件×10回)	40,000	チラシ配架依頼用
会場使用料	〇〇会館の使用料 (@5,000円×10回)	50,000	
保険料	ボランティア保険料 (@1,000円×10回)	10,000	
必要事業経費 小計		623,000	(B)

(計算方法)

必要事業経費(B) 623,000円

一般枠分 623,000円×1/2=311,500円⇒311,000円(千円未満切捨て)

京都府分 623,000円×1/3=207,666円⇒207,000円(千円未満切捨て)

自己負担等 623,000円-311,000円-207,000円=105,000円

(補助金申請額の計算欄) ※一般枠・小規模枠の該当する方の欄を記入

必要事業経費小計(B) 補助率 労力換算額の合計(C) 補助金申請額(千円未満切捨て)

一般枠 × 1/2 = ※上限60万円

小規模枠 × 3/4 + = ※上限10万円

※ 京都府地域力再生プロジェクト支援事業との併用の場合は、同事業の様式(収支予算書 別紙1-3)の写しの添付でも可

※ 支出内訳には、補助対象外となる経費(団体運営に要する経費・団体の人件費等)は記入しないでください

労力換算額算定書

団体名 _____

事業名 _____

申請団体等の構成員により無償で提供される労力内容及び実施時期	金額	内 訳 (500円×ボランティアスタッフの人数×時間数)
①		
②		
③		
労力換算額の合計	円	(C)

**一般枠の場合、
当様式の提出は不要です**

*小規模枠のみが対象です。

*採択事業におけるすべてのボランティア活動の記入を求めているものではありません。
労力換算額の上限分の記入で結構です。

(労力換算額の上限)	
① 必要事業経費(B) が10万円以上・・・10万円	－ $\frac{\text{必要事業経費(B)} \times 3/4}{\text{千円未満切捨て}}$
② 必要事業経費(B) が10万円未満・・・必要事業経費(B)	－ $\text{必要事業経費(B)} \times 3/4$

*補助金申請額（必要事業経費(B)×3/4）が上限の10万円に達する場合は、労力換算による補助金の加算ができないため、当様式の提出は不要です。

*記入欄が不足する場合には、別紙に記入して添付してください。